



朝顔TOPICS

●YPPからのお知らせ ニュースレター発行にあたって

YPP東京オフィスの創業地であった台東区入谷は「朝顔まつり(朝顔市)」が有名です。このことにちなんでニュースレターの名称を「朝顔TOPICS」と名づけました。朝顔は育てた人が多く、身近で親しみやすい花として知られ、開花の美しさはさることながら、双葉やつるがのびていく様を眺めるのが楽しい植物です。YPPも、朝顔のように、みなさまに親しまれながら、つるを伸ばしてたくさん花を咲かせていきたいです。

INDEX

- ▶▶▶ **TOPIC 1** スッキリ・ラボ 小松易の人生が豊かになる！片付け
「片付けの極意」第17回目
物の多さが豊かさの証明ではないの？

スッキリ・ラボ 小松 易

- ▶▶▶ **TOPIC 2**
上手なアウトソーシングのコツについて その4
アウトソーシングをスムーズに進めるための準備

おまかせ事務代行YPP 五味 渕 紀子

● YPPのお客様紹介コーナー

新刊のご紹介

● 編集後記

「片付けの極意」第17回目

物の多さが豊かさの証明ではないの？

こんにちは。かたづけ士の小松易です。
今回は物を多く持っていることは幸せか？というお悩みです。

Q お悩み Yさん

洋服も、バッグも、化粧品も、CDも、
たくさん持っていることが、幸せだと思っていました。
物の多さが、豊かさを表現しているってことではないのかな？



A 回答

確かに、物がたくさんあると、安心するし、満たされた気分にもなりますよね。

でも、使う予定のないものをいくらたくさん持っても、保管場所の無駄だったり、心の負担だったりするだけ、ということもあるんです。

実は私も、若いころには物をたくさん持っていました。特に、本はよく買っていましたね。自分の知らないことが世の中にたくさんあるということが不安だったのだと思います。

でも、どれだけ本を買って読んでも、世の中から知らないことがなくなるなんてことは、ありませんでした。

だから、あるとき、割り切りました。知らないことがあれば、素直に人に聞いたり、自分の頭で補って考えればいいのだ、と。

一度、そう腹をくくってしまうと、知らないことが話題にのぼっても、あわてずに落ち着いていられることに気づきました。

ちょっと自分の考え方を变えるだけで、不安は取りのぞけたのです。

Yさんも、自分の気持ちと向かい合ってみませんか。

物に囲まれていなくても、きつとうまくやれる術が見つかりますよ。

さあ、物を整理して、気持ちをリセットしてみましょう！



日本初の「かたづけ士」
『かたづけを通じて人生を変えるコンサルティング』
スッキリ・ラボ 代表

小松 易 こまつ やすし

大学在学中にアイルランドへ留学し、トランク1つで生活できたことに衝撃を受けて帰国。物を持たない自由と幸せを実感し、自然とかたづけに意識が向くようになる。大学卒業後は建設会社に入社し、現場でかたづけの重要性を学ぶ。その経験から、プライベートで知人にかたづけを教え、かたづけのさらなる可能性を実感する。

2005年9月に「スッキリ・ラボ」を開業。経営者向けコンサルティング、企業研修、講演などを通して、これまで延べ2500人以上に指導する。著書はシリーズ累計44万部『たった1分で人生が変わる片づけの習慣』（中経出版）ほか多数。テレビ出演に『ガイアの夜明け』（テレビ東京）、『めざせ！会社の星』（NHK）など。また、日本商工会議所発行の「石垣」にて「片づけマジック」シリーズが2年間にわたり連載され、好評を得た。かたづけとは、かたをつけること。自分とモノとの関係を終らせて捨てること。信条は「かたづけによって本当にやりたいことが見え、いきいきと楽しい人生が送れる」。志は「かたづけを通して世界を変えること」。

経営者必見！「ビジネス×片づけ」の事例満載！

自分と会社本来の力を取り戻す「かたづけメルマガ」

「スッキリ・ラボ メルマガ」でご検索ください。

★YPP五味洸のおすすめポイント！

日本人初「かたづけ士」という職業を世に生み出し、今やメディアでも活躍の小松易さん。小松さんが以前コンサルに入った会社で「社員全員の探し物の時間を足してみたら、一人分の人件費に相当した」という笑えない話があります。いつか…と思っていた方は、今日から！まず小松さんのメルマガ購読をおススメします。

YPPが考える「アウトソーシングの上手な活用方法」 上手なアウトソーシングのコツについて その4

この10年様々なアウトソーシングに携わってきたYPPから、皆様が本業により専念できるための「アウトソーシングの上手な活用法」を6回シリーズでご紹介しています。今回は「4. アウトソーシングをスムーズに進めるための準備」をお届けします。

第4回 アウトソーシングをスムーズに進めるための準備



これまでの章で「うまくいかないケース」をご紹介してきましたが、一言でまとめるならお互いに「共通認識があるか、ないか」が最も成果を左右します。

例えば、「頻りにルールが変わること」はアウトソーシングがうまくいかない要因の一つですが、ルールが変わってもその内容をもれなく共有できていれば、問題は起きません。

「スムーズに進めるための準備」とは即ち「共通認識をつくること」です。

さて、どんな共通認識を作ればよいか「経理」を一例にあげてみると以下のようなものがあります。

- ① 年間・月間スケジュール、各業務フローおよび納期・締切
- ② お得意先・仕入先・外注先・関係者先などの一覧
- ③ 取引条件の基本ルール（締日や支払い・入金条件等）とイレギュラー事項
- ④ 取扱商品（サービス）構成・価格・卸値等の一覧
- ⑤ 業務に関わる関係者、使用ツール（アプリやソフト）、データの保管場所の一覧

これらは依頼主側では、いちいち調べなくてもすでに暗記しているものも多く、一方、新しく作業する立場からすると、まったく知らないものばかりです。社名を見てもそれがお得意様なのか仕入先なのかは、最初は判断が付きません。

しかし依頼主からは「自分にとって当たり前のことを説明する」というのが中々難しいのです。なので、何がわからないかについては、やってほしいことの目的を伝えた後は、その業務について「聞きたいこと一覧」を作業側から出してもらうのが手っ取り早い方法です。

また、そのように作業側から聞かれて改めて説明しようとする、自社でもスケジュールやルールがあいまいであることが判明するという「副産物」もあります。データの保管場所が定まっていなかったり、必要なものと不要なものが混在していたりすると、説明する側も聞く側も一苦労ですが、その作業を通じて、業務が確実に整理されていきます。

アウトソーシングを頼みたくなるのは、すでにオーバーフロー気味で一刻も早く業務を巻き取ってほしい状況だからなのですが、同時に、そういう状況だからこそ従来以上に整理整頓ができていないことが多く、「頼みたいのに頼めない」ジレンマを抱えてしまいます。ですがこの初期段階での業務フロー整理をすることは、アウトソーシング活用の大きなメリットです。

ここで思い出したいのは、「アウトソーシングに向いているのは、ルールさえ決めれば誰がやっても同じ成果になる、ジャッジを伴わない業務」ということ。本格的なアウトソーシングをする前準備でのデータ整理や一覧表作成においても、仕事を細分化してルールを決めれば、作業者に依頼できるものがあります。

「全てわかっている自分がやった方が説明するより早い」と思いながら、中々着手できないまま三か月、半年が過ぎてしまう、ということにならないよう、準備段階の中で「作業者に依頼できるレベル」に細かい単位で仕事を切り分けてみましょう。少しでもこれが進んでいくと、アウトソーシング活用の流れが出始めます。

最終的には、業務を俯瞰した地図のようにして相手と共有できれば、そこからは、役割分担や納期を決めるのもスムーズです。本業に専念する時間を創り出すための「前向きな準備」ですので、急がば回れで、ぜひ最初に「相手がわからないことを洗い出して、お互いに共通認識にする」ステップに力を注ぎましょう。



今回は、アウトソーシングの上手な活用事例をお届けします。

また、アウトソーシング活用についてのご質問・ご意見もぜひお待ちしております。

どうぞ細かなことでもお気軽にお問い合わせください。
ypp@omakase-ypp.jp

YPPのお客様紹介コーナー



かたづけ士 小松易さんの新しい本が発売されました！

コミック版 たった1分で人生が変わる 片づけの習慣 (KADOKAWA)

通算21冊目の新刊「コミック版たった1分で人生が変わる片づけの習慣」(KADOKAWA)が昨年11月末に出版されました。

34万部のベストセラーとなった原作本の【漫画化】によって、片づけの知識や知恵、「片づけの習慣化」に至るまでのプロセスがより具体的に伝わります。今までのかたづけエッセンスが全て詰め込まれた「片づけ論」の総決算です！

コミック版という視覚的要素が加わり、主人公の表情も変わっていくことがわかり、とても楽しみながらあっという間に読み切ってしまいました。

YPPスタッフの感想

「自分のまわりはそれなりに片付いているから、大丈夫～♪」という気持ちが、読み進めるにつれて「結構知らないものが眠ってる?!」と変化していきました。

自然と「片づけよう！片づけたい！」という心の変化が起きたのと、身体も動かされるほど影響力がある内容でした。



日本初の「かたづけ士」
『かたづけを通じて人生を変えるコンサルティング』
スッキリ・ラボ 代表

小松 易 こまつ やすし

大学在学中にアイルランドへ留学し、トランク1つで生活できたことに衝撃を受けて帰国。物を持たない自由と幸せを実感し、自然とかたづけに意識が向くようになる。大学卒業後は建設会社に入社し、現場でかたづけの重要性を学ぶ。その経験から、プライベートで知人にかたづけを教え、かたづけのさらなる可能性を実感する。

2005年9月に「スッキリ・ラボ」を開業。経営者向けコンサルティング、企業研修、講演などを通して、これまで延べ2500人以上に指導する。著書はシリーズ累計44万部『たった1分で人生が変わる片づけの習慣』(中経出版)ほか多数。テレビ出演に『ガイアの夜明け』(テレビ東京)、『めざせ！会社の星』(NHK)など。また、日本商工会議所発行の「石垣」にて「片づけマジック」シリーズが2年間にわたり連載され、好評を得た。かたづけとは、かたづけること。自分とモノとの関係を終らせて捨てること。信条は「かたづけによって本当にやりたいことが見え、いきいきと楽しい人生が送れる」。志は「かたづけを通して世界を変えること」。

経営者必見！「ビジネス×片づけ」の事例満載！
自分と会社本来の力を取り戻す「かたづけメルマガ」

<http://03auto.biz/clk/archives/yqhupz.html>

編集後記

暖かなお正月のあとは厳しい寒さが来るらしい、と聞いていましたが本当に冬らしく、寒い日が続いていますね。

2月といえば「節分」ですが、本体の節分とは「立春・立夏・立秋・立冬」すべてを指し中でも一年の初めの「春の節分」が重要視され、立春2月4日の一日前を大晦日ととらえて前年の邪気を払う行事として「豆まき」が行われるようになったそうです。

歳の数だけ豆を食べるという習慣は、大人になったら酷だろう、と思っていたのですがお正月以来止まらない食欲に、難なく食すことができそうな自分が怖いです(笑)。

ともあれ、「立春」が日本古来の暦での新年だそうですので、気持ち新たに迎えたいと思います。

寒い日が続きますので、どうぞご自愛の上、

この二月も皆様のご商売繁盛となりますようお祈りしております。



おまかせ事務代行YPP
五味渕紀子